

総合学科高校におけるNPO等と連携した 社会人基礎力向上事業

～「人生100年時代の社会人基礎力」を身に付けるためには～

2022(令和4)年4月からの民法改正により、成年年齢が18歳に引き下げられました。その一方で、公益財団法人日本財団が実施した「18歳意識調査 第46回-国や社会に対する意識(6カ国調査)-報告書」*1によれば、自身と社会の関わりについて、「自分は大人だと思う」や「自分の行動で、国や社会を変えられると思う」と回答した人が3割に満たず、他の国に比べて低いことがわかりました。社会貢献活動や社会課題に取り組みながら、社会参加意識を高めていくことがより一層求められています。

2006(平成18)年に経済産業省が提唱した「社会人基礎力」では、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力として、右図の3つの能力を育成することが重要であるとされています。また、2018(平成30)年には「人生100年時代の社会人基礎力」として、自己を認識してリフレクション(振り返り)しながら、目的、学び、統合の3つの視点のバランスを図るという観点が追加され、一人ひとりが「自分のキャリアは自分のものである」と意識することが大切であるとされています。

東京都教育委員会では、本年度から都立総合学科高校2校において「総合学科高校におけるNPO等と連携した社会人基礎力向上事業」を実施しています。この事業では、「地域教育推進ネットワーク東京都協議会」*2の会員団体である青少年教育支援NPO等が、総合学科特有の学校設定科目「産業社会と人間」のカリキュラムづくりや「課題研究」に取り組む個々の生徒の学びをサポートします。また、放課後や土日、長期休業期間を使って高校生自身が社会参画プロジェクトを企画するPBL(Project Based Learning)を通じて、社会人基礎力を育成します。総合学科高校は、従来、キャリア教育を通して、一人ひとりの進路希望や興味関心に応じて多様な教科・科目を主体的に選択履修できる学校です。総合学科高校での学びをNPO等が支援し、発展・応用させ、実践的・体験的な学習を通して、「生きる力」の育成を目指していきます。

今回の特集では、本年度の4月に都立王子総合高校と都立世田谷総合高校で実施したキックオフイベントである「ODセミナー」と「フレッシュマンセミナー」の授業の様子などを御紹介します。

OD(王子総合ディスカッション)セミナーとは
毎年4月に新入生を対象に、自分の考えを相手に伝え、他者の意見を受け入れる態度の育成やクラス内の親睦、総合学科の学びの理解等を目的に、自己・他者理解のワークショップ、ディベート、クラスレク等を実施しています。 **4-5 ページへ**

フレッシュマンセミナー(世田谷総合高校)とは
毎年4月に新入生を対象に、校内での集団活動を通して、自己や他者理解を行い、高校生活への意識と自覚を高めることを目的に、今後の学習方法や進路選択に向けた考えなどを講義・研修を通して学びます。 **6-7 ページへ**

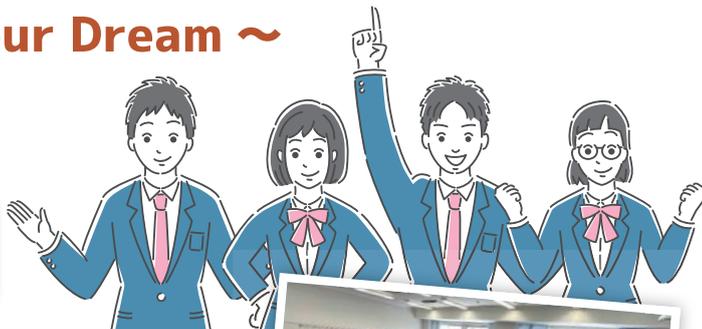


経済産業省ホームページ「人生100年時代の社会人基礎力」
(<https://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/>)

*1 日本財団「18歳意識調査 第46回-国や社会に対する意識(6カ国調査)-報告書」(2022年)
*2 地域教育推進ネットワーク東京都協議会
企業・大学・NPO等とのネットワークをつくり、子供たちに豊かで、多様な体験学習活動が提供できるようにサポートし、活性化していく仕組みづくりを目指して、東京都教育委員会が2005(平成17)年8月に設置。現在、600を超える企業・大学・NPO等が登録。
(<https://www.syougai.metro.tokyo.lg.jp/sesaku/schooling.html>)

ODセミナー ~ Design Your Dream ~

王子総合高校では、4月25日(火)・26日(水)に、1年生237名を対象としたODセミナーが行われました。



最初はクラスの人たちと仲良くなれるか心配だったけど、1日目で楽しく交流できたので良かった。

演劇の手法を活用したゲームなどのコミュニケーション、関係づくり、チームビルディング等のワークショップを行いました。この時間を通して同級生と話すきっかけができ、生徒一人一人がクラスの中で発言しやすい雰囲気を作ることができました。

※本ワークショップは、NPO法人ドラマケーション普及センターが講師を担当しました。

苦手ではあるけれど、コミュニケーションが取れた。



アイスブレイクとして、4択クイズや「7色自己紹介」(相手が初対面、80歳、3歳、外国人の場合を想定した自己紹介)を行いました。

プログラムの流れ

オリエンテーション



ドラマケーション
みんなでつくる
「クラスの和(輪)」



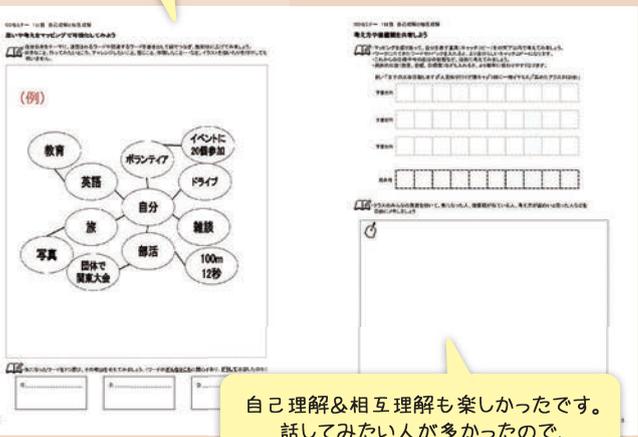
自己理解 & 相互理解ワークショップ

day1 4月25日(火)

一言自己紹介などで、クラスメイトとの仲が深まった。

1コマ目は、自分自身をテーマに、連想されるワードや関連するワードを書き出して線でつなぎ、マッピングする作業を行いました。そこから気になったワードを3つ選び、どんなところに関心があり、どうして注目したのかを考え、最後に、自分を表す言葉(キャッチコピー)を10文字以内で表現しました。生徒の皆さんは、好きなこと、将来の夢、自分の性格などについて、粋いっぱいに埋め、上手に10文字にまとめることができました。特に、「推し」に関するワードがたくさん登場しており、皆さんの好きなことへのエネルギーが伝わってきました。

2コマ目は、一人ずつ、クラス全員の前で作成したマッピングを見せながら、1分間のプレゼンテーションを行いました。知り合ったばかりの同級生の前で自分のことを発表するのは勇気があることかもしれませんが、全員が一生懸命話し、そして周りの発表を聞いていたのが印象的でした。「友達作りを頑張りたい」という声も多くありましたが、このワークショップを通じて相互理解を深めたことで、同級生と仲良くなる良いきっかけができたのではないのでしょうか。



自己理解 & 相互理解も楽しかったです。話してみたい人が多かったので、話しかけたいと思いました。

クラスの人のことを良く知ることができ、仲をより深められた。自分のことも多くの人に知ってもらえた。



NPO 担当者の想い

今回担当させていただいたODセミナーでは、①新入生同士が、相互に意見交換できる雰囲気づくりや対話の機運を促す、②生徒が総合学科高校で行いたいことについて、自分自身で考える重要性を理解する、の2点の目的がありました。

発表する機会が多いという総合学科高校では、生徒個別レベルで意見を言い合える心理的安全性が大切になるのではと考えました。そこでアイスブレイク及び生徒同士で会話をすることの楽しさ大切さを認識するドラマケーションを通じて、「対話しても大丈夫」というマインドセットを醸成し、自分のことをクラス全体に伝える時間を作りました。

また、先生方からは、自分の進学や将来を見据えた主体的な授業選択をしてもらいたいという想いを感じました。そこで、主体的な進路選

択の一助として大学生を派遣し、実際の大学での学びやその楽しさ、高校生だったときの自分を高校生に伝える時間を作り、少し先の未来のイメージを掴んでもらう時間を作りました。さらに、各科目の担当の先生から、「なぜその科目の先生をしているのか」「どんな気持ちで先生という職業をやっているのか」などを話してもらいました。聞いている生徒の表情からは楽しさだけでなく、これからの学校生活への期待感を受け取ることもできました。アンケートからは、「自分自身と真剣に向き合うことができた」「卒業後の進路は専門学校が一番良いと思っていたが、大学も良いと思った」というような、自己理解に関する感想や、これからの選択肢の広がりを実感できたというコメントを見ることができました。

各科目の担当の先生11人から、専門分野の面白さや自身の進路選択についての熱いプレゼンテーションを聞きました。先生がなぜその科目を専門的に学んだのか、先生になる前にはどんなことを経験したり考えたりしていたのか、授業を通して生徒の皆さんに何を伝えたいのか。普段の授業では聞くことができなかった先生の話聞くことができ、貴重な機会となりました。話を聞きながら、面白い・調べたいと思ったことについてメモをし、科目の一覧を見て選択科目を「仮決め」しました。この時間をきっかけに、高校3年間でどの科目を勉強してみたいか、じっくり検討することができました。

話を聞いた先生の担当科目 国語科、数学科、芸術科、英語科、情報科、工業科

自分の受けた授業が、決めることができてよかった。

選択科目仮決めが、2年生にむけての練習になってとてもよかった。



将来の為に役に立つ授業を選択していこうと思った。

大学生ストーリーテリングに向けて、質問をたくさん考える練習を行いました。

校長先生の総評を聞き、セミナーを通じて見つけた自分の興味関心や、これから高校生活でやってみたいことについて考えました。

キャリアワークショップ

ストーリーテリング
(大学生の話聞く)

選択科目
仮決めワーク

まとめと振り返り

day2 4月26日(水)

話を聞いてみたい大学生を3人選び、学問、大学生活(サークル・アルバイト等)、受験勉強などについて、20分ずつお話を聞きました。大学生は、難しい学問知識について身近な事例から分かりやすく解説したり、専門分野を活かしてデザインに凝ったスライドを見せたりしながら、いきいきと語ってくれました。座談会の質疑応答の時間では、生徒の皆さんは大学生の話に引き込まれた様子で、時間が足りなくなってしまうほどたくさんの質問が寄せられました。

集まった大学生の例(キーワードを#ハッシュタグで記載)

- ・#機械工学 #発明 #クリエイター大学生 #車のある生活
- ・#芸術学部(写真) #学祭 #推し
- ・#映像身体学 #映像と舞台の研究 #憧れ #受験の選択
- ・#政治思想・政治哲学 #マイノリティの権利 #退職・大学院進学 #フランス語

普段なかなか聞くことが出来ないリアルな声が聞いて、とてもいい刺激になった。今までは、絶対に専門学校に行こうと思ってたけど、大学に行くメリットも知ることが出来てよかった。

大学生の話聞き、自分が好きな方に進めているのかを見つめなおせてよかった。もっといろんな人の話を聞きたいです。

今まで考えてこなかった学部に興味を持つことができたので、しっかり自分自身で決断できるように頑張りたいと思った。



大学について詳しく知ることができ、なぜその大学に決めたかなどの理由が知れた。また、高校生のうちにやっておいた方がよいことなどについても、聞くことができた。



王子総合高校 榎野治和校長からのメッセージ

このODセミナーのアンケートでは、すべての生徒が好意的に評価していたので、当初のねらいは達成できたと考えています。2日間のうち、1日目は自己理解と人間関係づくり、2日目は今後の自分自身のキャリアについて考える、という明確なプログラムができました。前者に関して、出身中学・地域もバラバラな子どもたちが、自分から話しかける垣根が一気に低くなり、仲良くなるきっかけを作れたので良かったです。後者については、1年生の4月の段階から自分のキャリアを意識することができました。特に「選択科目仮決めワーク」を通して、生徒が総合学科を選んだ理由の「選択科目が多い」「学びたい科目がある」という期待に応える形で、進路に向き合う機会ができました。今回のセミナーでは、Foraさんの協力のおかげで大学生を呼べたのが良かったです。普段は上の世代とのつながりといえば、親か先生、部活動でも1、

2歳上の先輩に限られます。本来一番近い目標であるはずの「ナナメの関係」にあたる大学生と関わる機会ができたのは大きかったです。

総合学科では、選択科目が多いため、今後のキャリアに深く関わる高校3年間を、「自分は将来何になりたいのか」「何に向いているのか」を考えながら過ごせるのが魅力です。AI化やグローバル化が進む現代では、コミュニケーション能力、思考力、問題解決能力といった「見えない学力」が重要です。これらの能力は何回も訓練することが必要ですが、「産業社会と人間」や「課題研究」を通して鍛えることができるのも、総合学科ならではの強みです。今の成績で考えるのではなく、本校のコンセプトである“Design Your Dream” 自分の夢をかなえたい、そう願っている中学生にぜひ入学してもらいたい学校です。

フレッシュマンセミナー ～宝のカギが見つかる場所～

世田谷総合高校では、4月27日(木)・28日(金)に、1年生237名を対象としたフレッシュマンセミナーが行われました。



クラスや出身中学が異なる人同士で4人1組になり、グループで校舎を周りながら、自分の価値観を問う「究極の2択」の質問に答えました。ライフデザイン棟、情報デザイン棟、ものづくり棟、陶芸棟など、世田谷総合高校ならではの施設は、歩き回るだけでも探検気分です。

- 流れ** 指定されたルートで教室へ行き、「お題カード」を2枚ひく
 →お題への回答とその答えにした理由を、グループ全員で共有
 →4教室を周ったら、終了

- お題の例** ・好きになった人が実は火星人 「付き合う」・「付き合わない」
 ・どっちが欲しい? 「最推しと2人で過ごせる3時間」・「老後の保障」

体育館に戻った後は、仕事・家庭・友達・恋愛・お金についての考えをふせんに書き、全員が模造紙に貼って共有しました。話したことのないメンバーで、中学校まではなかったような教室に行き、考えたことのない質問に答えていく。様々な初めてのことに取り組んだこのワークの中で、たくさんの新しい発見があったのではないのでしょうか。

プログラムの流れ



分身ロボット OriHime を提供する株式会社オリ研究所の方から、御自身の経験についてお話を聞きました。

お題スタンプラリー

〔講演〕
株式会社オリ研究所

〔講演〕
MAKERS UNIVERSITY
出張授業

今日の振り返り
「宝のカギ」探し

day1 4月27日(木)

起業やプロジェクトに取り組む大学生・若手社会人から、取り組んでいる問題意識やその原体験などのお話を聞きました(20分×2人)。その後、メッセージカードを記入して個別に意見交換をしました。あるゲストは「自分は目立ちたくないけれど、世の中の役に立ちたい。だから、このNPOの活動を始めた」と語ってくれました。自分の芯をもって人生を切り開き、理想とする未来の実現に向けて挑戦する先輩たちの姿を見て、良い刺激になったことでしょう。

集まったゲストの例(キーワードを#ハッシュタグで記載)

- ・#スポーツ#ハンドボール#車いすバスケットボール#パラリンピック#パラスポーツ#障害者#多様性#ドイツ#留学#韓国アイドル
- ・#建築#ジンジャエル#アート#料理#サウナ#デザイン#まちづくり
- ・#ピラティス#パーソナルトレーナー#看護師#産前産後#旅#アメリカ横断#バスケ
- ・#ワガママに生きれる#愛で溢れるカオスな社会を創る

自分の意思をしっかりとって行動する姿に惹かれて、自分もそうだろうと自信が持てました。

これからの人生において大切だと思ったことについて書き出しました。



自分らしさを大切にすることや、「半径50cmを変えるアクション」を起こすことの大切さ

周りに流されず自分の軸を持つこと、自分のやりたいことを諦めないこと



NPO 担当者の想い

世田谷総合高校は「宝のカギが見つかる場所」として、校長先生を中心にキャリア教育を大切にしています。そのスタートがフレッシュマンセミナーであり、先生方と打ち合わせを重ね、「宝のカギ」につながるキャリアや高校生活への自分の想い・キーワードを自ら探す2日間としてプログラム設計をしました。

1日目はインプットを重視しました。ヤングケアラーの過去を持ち「孤独を救いたい」とキャリアを歩む講演者や、自分の想いを軸に「他にはない新たな選択肢」を選び、突き進む若手起業家の言葉から、生徒は「感じてはいけない感情はない」「主語は自分」など自分の考えを大切にすることを受け取っていました。2日目はアウトプットを重視しました。「自分の夢を伝え5人から応援してもらおう」「1年以内にやり

たいことを30個リストアップする」等のミッションを自分で選んで挑戦し、「自分が思っている以上に自分にはできることがある」「いざ行動してみると上手くいったり発見がある」など、「やってみる」ことで得られる気づきを言葉にしていました。

2日間自分と向き合う時間を過ごした結果、事後アンケートでは生徒の9割近くが「自分がキャリアや進路を考えるうえで大切にしたいことやキーワードが見つかった」と回答し、自らの考えを軸に積極的に学校生活を過ごしたいというコメントが多く見られました。「自分で選び・学ぶ」ことができる総合学科高校で、生徒それぞれがキャリアや高校生活に持つ「自分の想い」を軸に、チャレンジや探究を重ねる後押しができたのではないかと考えております。

3人1組で協力しながら、提示された中からできるだけ多くの「ミッション」に挑戦しました。制限時間は3時間。最終的に、全員で355個のミッションを達成することが出来ました！

ミッションの例

- 「あなたの応援団を創ろう」
スケッチブック等に自分の夢や目標を書き、5人以上に見せてコメントをもらう
- 「センセイ図鑑」
3人・3教科の先生に突撃インタビューし、先生の紹介ページを作る
- 「ミッションクリエイト」
自分たちだけの独自ミッションをつくって挑戦



その後、ミッションの中で「自分について気づいたこと」についての質問に答え、特に大事にしたいテーマ・キーワードを考えました。

「100人と写真を撮ろう！」

取り組んだ生徒のコメント

- そのミッションに挑戦しようと思った理由
→色んな人とのかかわりを増やしたいから！
- 感想
→大変だったけど、みんな優しくてノリ良く一緒に撮ってくれました！



「世田総のロゴ、キャラクターを描いてみよう！」

取り組んだ生徒のコメント

- 世田総らしさを存分に引き出せるよう、世田総のことを考えながらやった
- 自分的にできはどうかだったのか？
→良い！とても上手くできた気がする



自分探しミッション

自分探しミッションの振り返り

キャリア／
高校生活を考える
ワーク

相互発表・応援ワーク

day2 4月28日(金)

2日間を振り返って、グループで「自分が欲しい未来」を考えました。

模造紙の半分に「私がこうあったらいいなと思う／ワクワクする未来」を、残り半分には「ワクワクする高校生活／こうあったらいい高校生活」を、できるだけたくさん書き出しました。そして、ほしい未来・ほしい高校生活を表すキーワードを選び、「高校時代にチャレンジしたいこと・経験したいこと」を考えました。最後に、グループ内でお互いの考えを共有し、応援のコメントを送り合いました。

今までは現実ばかり見て、やりたいことを自分から諦めていることがあったけど、話を聞いたりして、自分でチャンスを逃したり、諦めるのは良くないなって思った。

新しい気づきの一つとして、将来の目標や信念が思いつかなかったときは明日〇〇を頑張ろう、など些細なことから考え始めていんだと今回のフレッシュマンセミナーで気付かされた

友達の意見を聞いて自分の意見を整理したら今の自分の目標がわかった



世田谷総合高校 佐藤信孝校長からのメッセージ

今回、今までやったことがないような活動を通じて、生徒には高校生活への期待や達成感を持たせることができたと思います。また、NPO と連携したことで教員の刺激になり、プログラムの質も上がりました。例えば MAKERS UNIVERSITY のように、これだけ多様な人々を短期間にニーズに合わせて集めるのは、ウィルドアの力があってこそできたことでした。

今後は、NPO の協力を得ながら社会参画に資する科目を新たに設定し、コミュニケーション能力の中でも「観察力」「質問力」「プレゼン力」に特化して育成していきたいと考えています。実践的な社会体験を通じて、社会人基礎力を育成するプラットフォームにしてほしいです。相手をよく観察して「この人はなぜこんな話をしているのかな?」、「本当にそうなのかな?」と問いを立てて質問したり、発信したりできるだけ、

自分を助けてくれます。ここで鍛えた力が、最終的には総合型選抜にも生きてくるでしょう。

世田谷総合高校には、全日制普通科高校にはないような施設・設備があり、それを活用してものづくりや国際交流が非常に結びついていきます。「将来どんな仕事をしよう」「自分にはどんな適性があるんだろう」というのを、本校の特色ある活動を通して考えることが出来ます。自分の高校時代を充実させたいと思う皆さんにはぜひ本校に入学してほしいです。また、総合学科ならではのいろいろな活動を通して、日常の小さなことでも裏に込められた意味に気づき、喜びを感じられるようにもなります。例えば、国際交流の中でフェアトレードについて勉強し、現地から直接購入したコーヒーを飲むなど。学力ももちろん大切ですが、こういったことこそ、本当の豊かさにつながるでしょう。